

第 学年 組 保健学習指導案

平成 年 月 日 ()

指導者 ○○ ○○

1 単元名 ○○○○○○○○○○

2 授業づくりの構想

(1) 単元観

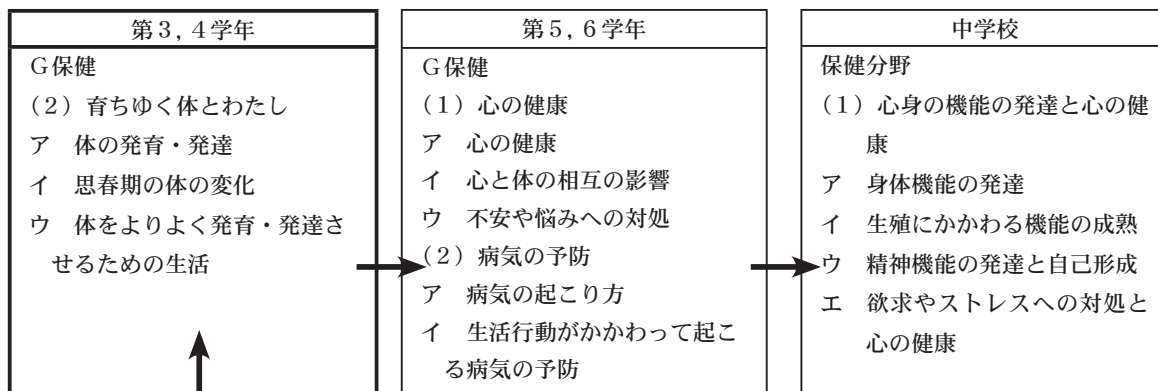
保健領域では、その教材に関連する一般的実態、現代的課題、学習する必要性、学習することによる効果等々について記述する。

(2) 児童の実態

教材に関する児童の興味や関心などの実態、既習事項、アンケート結果、これまでの学習の様子などについて記入する。

※当該学年の内容を太枠で囲んでください。運動領域とは異なり、中学校の内容を記載してください。

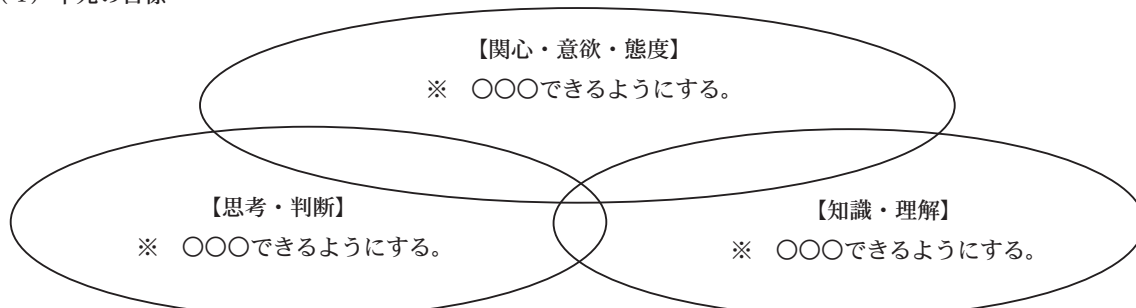
(3) 学習内容の系統性



関連する保健指導・教科等

・学級活動、道徳、学校行事、総合的な学習の時間等の中から、関連する指導、事項等を箇条書きで列挙する。
 (例)・むし歯の予防(学級活動)、いのちのリレー(学級活動)、宿泊学習(学校行事)、…

(4) 単元の目標



(5) 学びへの働きかけ（指導の意図）

○指導のポイント、指導の手立てや工夫、学習過程、言語活動についてなど、指導観を記入する。

(6) 単元の流れ及び評価の計画

時	1	2（本時）	3	4
主なねらい	体の発育・発達については、身長、体重などを適宜取り上げ、これらは年齢に伴って変化することを理解するとともに、体の変化には個人差があることを理解する。	思春期には、体つきに変化が起こり、人によって違いがあるものの、男女の特徴が現れること、また、初経、精通、変声、発毛が起こり、これらは早い遅いがあるものの、だれにも起こる、大人に近づく現象であることを理解する。	思春期には、早い遅いがあるものの、だれにでも心に変化が起こり、異性への関心が芽生えることを理解する。	体をよりよく発育・発達させるための生活の仕方には、多くの種類の食品をとることができるような調和のとれた食事、体の発育・発達に適切な運動、休養及び睡眠などが必要であることを理解する。
学習活動	「育ちゆく体とわたし」について、調べたいことを話し合ってみる。 「体の発育」について、健康の記録をもとに、自分の身長や体重の変化を調べる。 「体の発育」について話し合ったり、まとめたりする。	大人に近づくにつれて、わたしたちの心や体がどのようにどのように変化するか、考える。 体のどこにどのような変化がいつ頃おきるか、男女別に調べる。 調べたことをもとに、思春期の体の変化について話し合ったり、まとめたりする。	大人に近づくにつれて、わたしたちの心にどのような変化がおきるか、考える。 異性への関心現れ方について、調べてみる。 調べたことをもとに思春期の心の変化について話し合ったり、まとめたりする。	体のよりよい発育のためには、どのようなことが必要か考える。 生活習慣アンケートや生活自己点検をふり返るとともに、体によりくらしについて考える。 体のよりよい発育について、調べたことをもとに話し合ったり、まとめたりする。
評価の計画	関	①	②	
	思	①		②
	知	①		②

※1時間における評価の観点は、原則として1、多くても2が望ましいです。単元全体を通じて、全ての観点を網羅できるように計画してください。

具体的な評価規準	関心・意欲・態度	思考・判断力	技能
	①育ちゆく体とわたし」の体の発育について、教科書や健康の記録を見たり、自分の生活をふり返ったりするなどの学習活動に進んで取り組もうとしている。 ②思春期の体や心の変化や体のよりよい発育について、教科書や資料などを見たり、自分の生活をふり返ったりするなどの学習活動に進んで取り組もうとしている。	①体の発育や思春期の体や心の変化について、教科書や友だち、先生の話をもとに、課題や解決の方法を見つけたり、選んだりするなどして、自分の考えを説明している。 ②体のよりよい発育について、教科書や自己の生活ポイントカードや友達や先生の話をもとに、生活課題の解決方法を選んだり、見つけたりして、それらを説明している。	①体の発育や思春期の体や心の変化について、理解したことを書いたり、発表したりしている。 ②体のよりよい発育について、理解したことを書いたり、発表したりしている。